

従来は・・・

どんなにすぐれたシステムであってもアナログ伝送には必ずロスが出てしまう・・・

どんなに細かく位置を合わせても左右から出る音のタイミングはどうしてもずれる。

店ではヴィンテージスピーカーを扱っていて、時にトウイーターを追加してシステムを組み立てています。コイルやコンデンサを合わせてのネットワーク作りでは、理論値に近づけることはできても、ピッタリなものできません・・・

ステレオスピーカーのユニットと言えども、左右の特性を完全に一致させることは難しい。フルレンジならまだしも、3Way、4Wayとマルチユニットになれば、コンマ何 dB の誤差でも全体として大きな差となり、音質に影響が出ます。

音質的に理想的なポジションにスピーカーを置くことは生活スペースの中では中々難しいもの。

EXAKT

by 石井

ココが凄い

ユニットの直近までデジタル伝送されるため、各ユニットに音楽情報がロスレスで届けられます。

ヘッドユニットと左右のスピーカーを完璧にリンクする EXAKT LINK。この同期誤差は 25.4 ピコ秒。距離差に変換すると 1 ミリの 900 万分の 1。これはもう、完全同期と言ってもウソにならないレベル!!

EXAKT ENGINE ではフルデジタルのクロスオーバーで帯域を分割し、歪ゼロかつ増幅誤差ゼロ。クロスオーバー周波数と遮断特性を設計通りに実現できるのです!!

LINN のスピーカーユニットは、クラウドデータから、そのスピーカーのユニット構成の特性を取り出して、個体偏差の補正までしてしまいます。これも EXAKT ENGINE の成せる業。

リスニングポジションとスピーカーの設置位置を入力することによって、80Hz 以下について定在波のピーク値を算出しそこだけをフィルタリングしてくれます。設置上不利な場所でも音質をオプティマイズできるのです!

LINN MAJIK LP12 ◆ 竹田

店に入ったばかりの頃はオーディオのことをなんにも知らなかった。そんな素人目にも、LP12 の道具としての美しさは別格に見えました。

昨年で 10 年がたちました。オーディオ屋として LINN の DS のことやセッティングのことなんかは少しわかるようになった、そろそろ私も持ってみてもいいんじゃないか。オーディオとあまりに縁遠い生活をしてきたので、多くの人の憧れに簡単に手を出し

てはいけなような、気構えが必要な気がしていたのです。そして、買うのなら自分で組み立てたい。いずれはよい組み手になりたい。そんな思いで、LINN JAPAN の古川さんに指導を頂き、1 つ 1 つのパーツから見て、改めて驚きます。

(※) 組み立て過程は SOUNDCREATE Legato HP にて

ネジ一つにおいてまで細やかに選別されたパーツ。外観の美しさは内部構造が表に出てこないような配慮に所以しています。そ

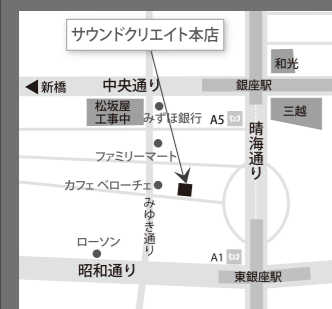
してそのすべてが LP12 の音に必要な不可欠なものなのです。

LP12 の音は、店やお客様のお宅で何度も聴いています。

あの抜けのよい低域と、芯のぶれない音像。深い井戸からくみ上げた水のごとく、新鮮でナチュラルな音は、音楽の根幹を見せてくれます。

いつの間にかヴィンテージ色になった部屋には、スピーカーが 2 機種。

ワーフェデールの 3 ウェイスピーカー W70C、そして一度耳にしてから思い焦がれて頼み込んで探してもらった TANNOY コーナーカンタベリー DECCA 仕様。これらで鳴らす LP12 の音は予想を遥かに超えて、より深い音楽の喜びを私にもたらしました。



SOUNDCREATE

〒104-0061 東京都中央区銀座5-10-6 第一銀座ビル 7F
URL: www.soundcreate.co.jp | TEL: 0120-62-8166

SOUNDCREATE Legato

〒104-0061 東京都中央区銀座2-4-17
URL: www.soundcreate.co.jp/legato/ | TEL: 03-5524-5828

営業時間: 12:00~19:00 定休日: 毎週火曜日/第2、第3月曜日(除く祝日)



取り扱いブランド

LINN/OCTAVE/MAGICO/B&W/JBL/Sonus faber/PIEGA/Brodmann/Albedo/Davone/McIntosh/ELAC/KEF/NuForce/TRIGON/QUADRASPIRE/ヴィンテージ各種...etc

システム導入記

サウンドクリエイトスタッフ編

新規にシステム導入したスタッフの部屋をご紹介します。

LINN EXAKT AKUDORIK ◆ 石井

EXAKT システムが発売され約 2 年。

多くのお客様にご納品させて頂きました。そこでいつも感じる事は、「このシステムは究極だな」ということ。生きた音をどこまでもダイレクトに届けるという、シンプルだけれど一番大事なことを徹底的に追及したシステムだと思います。根本から考えてみる柔軟さと、技術力の高さ、それに社をあげて取り組む大胆さには心から凄いです。



◆ 納品の折々にお客様の驚きを目のあたりにしていると、自分でも所

有したい気持ちがふくらんできます。反面、お客様によっては「素晴らしいシステムだけど、これで完結しちゃうのが寂しい気もする。」と頷けるご意見も頂きます。納品の度に悶々としていましたが、あらたに発表された【LINN AKUDORIK】を聴いた瞬間の衝撃・・・「これだ!」。システムが完結する寂しさよりもこの音で自分の好きな音楽を心行くまで聴きたい! そう思ったのでした。

オプティマイズしない状態でも、ケルンコンサートは繊細なピアノのアタック音がよりリアルに聴こえます。どこまでも伸びていく高域の響きと、一気にはじけ飛ぶブックシェルフの濃く凝縮された音が、眼前に広大なサウンドステージを出現させノックダウンされて導入を即決しました。

そしてアナログプレーヤーも導入! CD 世

代の人間ですが、幸か不幸かレコードの魅力は、数々のお客様のお宅で体験させて頂きました。加えて EXAKT に繋いだ LP12 の音に心酔。音の厚みと、奥行き、低域の量感全てがスケールアップするのです。レコードの持つ魅力をとどめながらも繊細で一音一音淀みなく再生出来るのはアナログの音源がデジタルに変換され、192kHz/24bit でスピーカーまで伝送される EXAKT のなせる業! MAJIK LP12 を MM 入力で接続するだけでこの音になるとは驚きです。

いよいよ自宅に設置。北欧家具好きを自認する拙宅と、AKUDORIK のマッチングも素敵と自惚れてます。6 畳の小さな空間ですが、オプティマイズの効用で、軽やかかつローエンドまで伸びた低域は飽和感も皆無で、小音量再生でも音が痩せず音の粒がリアルに広がっていきます。

学生時代、英語の授業で何度も見た We Are

The World のレコードをかければ、等身大のスーパースター達が、本当にそこにいて体を動かしているように浮かびあがります。好みの J-Pop を聴かせて「ライブに行ってみてほしい」と家族の許しも取り付けて、ようやく一安心。音があまりに良くなると、仕事モードも加わって、「次は TV と BD プレーヤー。見たい映画もたまってきたし。その場合、このサイドボードだと、少し高さがありすぎる。新しいのを探さない」と...

EXAKT AKUDORIK システムが実に悩ましくも楽しい MUSIC LIFE を運んできました。



4ch 分のアンプがこの DORIK スタンドに搭載され、スピーカーと直結している